

## 区画・道順の見直しの実施

### 1 概要

- (1) 今年度から全局の通配・混合担当者に Dcat 端末を配備し、データ取得できる対象を拡大したため、郵便サービスの見直し(土曜配達の休止、配達日数の繰り下げ)後の業務量動向に応じた区画・道順の見直しをさらに推進。
- (2) 具体的には、曜日別の業務量の波動に応じた区割りパターンの運用により、区別・班別・部別の作業時間等のアンバラを解消できるよう、道順の一筆書き等を実施。
- (3) 2022 年度は「人材育成、スキル・ノウハウの蓄積」を行うとともに、見直しに意欲のある局を募集し、区画・道順の見直しを実施。

### 2 区画・道順の見直し方針

別紙のとおり。

### 3 実施局

希望に基づき実施局を決定。

## 1 2022年度実施方針

- ・今年度から全局の通配・混合担当者にDcat端末を配備し、データ取得できる対象を拡大したことから、郵便制度改正（土曜配達の休止、配達日数の繰り下げ）後の業務量動向に応じた区画・道順の見直しをさらに推進。
- ・具体的には、曜日別の業務量の波動に応じた区割りパターンの運用により、区別・班別・部別の作業時間等のアンバラを解消できるよう、道順の一筆書き等を実施。
- ・2022年度は人材育成、スキル・ノウハウの蓄積を主眼とし、以下のポイントを参照して対象局を選定し、支社によるきめ細やかなフォローを前提に見直しを実施。
- ・旧集配センターを含む8局程度を、ブロックごとに支社のフォロー体制のバランスを考慮して選定。

### ○実施局選定の判断ポイント

#### 判 断 ポ イ ン ト

特に重要な  
ポイント

- ・部や班で一人当たりの超勤時間にアンバランスが見られる
- ・直近3年間の人口・配達箇所数増減の状況から、業務量の増減幅が大きい
- ・エクセルマップを確認し、飛び地や幹線跨ぎなど非効率な区割りになっている

その他  
考慮する  
ポイント

- ・集配業務に精通した局長及び管理者等が在籍し、見直しの体制が整っている

## 2 2022年度実施方法

区画・道順の見直しに向けて、次の手順を進めていく。

<Step>

<実施内容>

<備考>

|  |  |   |
|--|--|---|
| <p><b>【Step1】</b><br/>事前準備</p>           | <p>①【4月下旬】2021年度末における区画・道順の見直し取組状況を確認</p> <p>②【5月下旬】<u>見直し計画策定</u>（年繁期は避けて計画を策定）<br/>※ 見直し計画は、毎月月末に評価・反省</p> | <p>・見直し計画の策定の際は、支社とあらかじめ調整</p>                                |
| <p><b>【Step2】</b><br/>見直しの実施</p>         | <p>①月次で区画・道順の見直し作業の進捗状況を確認し、遅れがある場合は速やかに対応</p>   |   |
| <p><b>【Step3】</b><br/>進捗管理<br/>評価・反省</p> | <p>①見直し計画に沿って作業が進捗しているか、また、見直しによりオペレーションに影響がないか等について、<u>毎月月末に評価・反省</u></p>                                   | <p>・必要に応じて、支社訪問の上、取組状況を確認</p> <p>・評価・反省を踏まえ、実施方法について随時見直し</p> |

※ 区画の見直しにあたっては、エクセルマップやDcat作業実績データを活用し、定量的に検討。

※ 安易に増区とならないよう、部総体（または局総体）でアンバランスを調整する等工夫して検討。

※ 策定した区画・道順は、マンション建設や新たな宅地開発等の配達箇所増加などによる業務量の動向や、新たな道路の開通等の交通事情の変化を踏まえ、適時見直し（メンテナンス）を実施。

### 3 Step2で確認する主な項目

「取組体制の確立」・「一筆書きを基本とした道順の策定」・「新区画の策定」等を中心に確認。

|   | 項目                           | 確認内容                       |
|---|------------------------------|----------------------------|
| ① | 取組体制の確立                      | 区画・道順の見直し責任者・リーダー等の任命      |
| ② |                              | 支社との連携                     |
| ③ |                              | プロジェクト会議の開催                |
| ④ | 一筆書きを基本とした道順の策定              | エクセルマップによる現行区画の問題点を顕在化     |
| ⑤ |                              | 班ごとの道順のつながりの策定             |
| ⑥ |                              | 区ごとの道順の策定                  |
| ⑦ |                              | エクセルマップによる町域内及び区分口内の配達順路策定 |
| ⑧ |                              | 新区画・新曜日別区割りパターン・道順の現改表作成   |
| ⑨ | アンバラの確認・新区画の確定               | 区画調整ツールへの事前データ入力           |
| ⑩ |                              | 区画調整ツールによるアンバラ調整           |
| ⑪ | 通区訓練計画の策定                    |                            |
| ⑫ | 通区訓練の実施                      |                            |
| ⑬ | 移行作業                         | 新配達総合情報システム登録              |
| ⑭ |                              | 区分機の区分指定面変更（※該当局に限る）       |
| ⑮ |                              | DOSS設定                     |
| ⑯ |                              | 1分当たり基準配達物数算出・設定           |
| ⑰ |                              | 取集管理システム登録                 |
| ⑱ |                              | 表示物等作成                     |
|   | 新区画（新曜日別区割りパターン）・道順の運用開始     |                            |
| ⑲ | 新区画（新曜日別区割りパターン）・道順の運用開始後の確認 |                            |